

ひらの 議会だより



ポイ捨て等条例を制定

みんなで守ろう「自然豊かな広野町」

③

新年度の重要施策とは…他 7議員が町政を問う(一般質問)

⑪

“緊張の1時間”小学6年生が12月定例会を傍聴

⑲

絶対しないぞ「ポイ捨て・火遊び」お約束

(広野幼稚園防火パレード)

No.109

平成23年1月21日発行

福島県広野町議会

E-mail gikai@town.hirono.fukushima.jp

豊かな自然と 町民の快適な生活環境を 守るために

広野町ポイ捨ておよび犬のふんの 放置防止に関する条例を制定

この条例は、空き缶やタバコ等のポイ捨てによる散乱防止と犬のふんの放置防止について必要な事項を定め、環境の美化を推進し、町民の生活環境を確保することを目的としており、平成23年4月1日より施行されます。

今後は、それらの行為を監視したり、喫煙マナーなどを指導する「ポイ捨て等防止監視員」が置かれ、町の指導および勧告に対し、正当な理由がなく従わないときは、3万円以下の過料が処されます。

▲新年の幕開け（平成23年初日の出・みかんの丘より望む）

12月定例会

平成22年第4回定例会を12月14日から15日までの会期で開きました。今回は、広野町ポイ捨ておよび犬のふんの放置防止に関する条例の制定をはじめ、一般会計および特別会計補正予算案など、6議案を慎重に審議し、すべて原案どおり可決しました。なお、一般質問では7人の議員が、それぞれ町の対応や考えを問いただきました。

啓蒙活動に力を注げ

中津伸一議員 この条例が制定されたならば、いち早く町民に知らせ、環境美化に対する意識を高めることが重要と考えますが、今後どのような啓蒙活動を行っていくのですか。

根本福祉環境グループリーダー この条例はモラルの向上をはかることが目的であり、平成23年4月の施行に向け、広報ひろへの掲載や回覧、さらには啓発看板の設置などで周知の徹底に努めていきます。



▲不法ゴミの分別をする環境美化推進員

12月補正予算

1億379万円

12月定例会に提案された一般会計補正予算ならびに4つの特別会計補正予算は、一般会計は主に土地購入費のほか、道路新設改良費の計上で、特別会計は主に居宅介護サービス給付費などの計上でした。

12月補正の結果

会計名	補正後の予算額 (補正額)
一 般	38億 917万円 (9014万円)
国民健康保険特別	6億 1752万円 (32万円)
介護保険特別	4億 1013万円 (1267万円)
後期高齢者医療特別	4347万円 (66万円)

主な補正内容

○一般管理費	595万円
○財産管理費	3697万円
○老人福祉費	△216万円
○障がい者福祉費	830万円
○児童措置費	△603万円
○道路新設改良費	2001万円
○農業施設災害復旧費	392万円
○居宅介護サービス給付費	1267万円

※金額は、全て万円未満を切り捨てて表示しています。

新年のごあいさつ



広野町議会議長 坂本紀一

新年明けまして、おめでとございます。町民の皆様には、輝かしい希望に満ちた初春を迎えられましたことを心からお喜び申し上げます。

昨年は、7月に行われた参議院議員選挙に

おいて、民主党が過半数を確保できず、いわゆる「ねじれ現象」を引き起こし、普天間基地移設問題や尖閣諸島問題など外交問題が続き、政局は混迷を深める結果となりました。また世界的金融危機以降、円高が治まらず、国内の各企業では、新規職員の採用を見合わせているなど、今までの例がないほどの新就職氷河期が予想されており、2011年以降の日本経済の行き先が国民は不安感を募らせています。

明るいニュースでは、カナダのバンクローパーで開催された第21回冬季オリンピックや南アフリカで開催されたサッカーワールドカップなどで、日本人の活躍に夢と感動を与えてもらい、日本全土で多に盛り上った1年でもありました。

本議会においても、「サッカーの町」を全国にPRすべく6月定例会の会期中、日本代表応援Tシャツ着用で臨むなど、広野町が丸となって取り組みました。なお、東京電力株式

12月定例会 質疑

将来を見据えた財政運営と 未来ある町づくりを要望

12月定例会の質疑では、今後における公有地取得の考え方や、振興作物の生産拡大の推進など、議員からさまざまな意見や要望が出されました。その中の一部をご紹介します。

振興作物収穫補助金が減額となった理由は

渡邊正俊議員 特産品開発の拠点施設として、農産物加工施設を現在建設中ですが、今後も振興作物の生産量拡大に努め、農業の明るい将来が開ける施策を講じるべきと考えますが、今回の補正で(※)振興作物収穫補助金を減額した理由はなんですか。

今年度から運用が開始された(※)農業者戸別所得保障制度により、国からの補助金が増えた分の差額を減額したためです。

渡辺産業グループリーダ― 振興作物の作付面積は昨年と同じくらい確保していますが、

※振興作物収穫補助金
水田の転作作物として作付けをし、収穫した作物に対し交付する補助金。

※農業者戸別所得保障制度
国、県、市町村が策定した「生産数量目標」に対し、米、麦、大豆などの生産を行った販売農業者（集落営農を含む）に、生産に要する費用（全国平均）と販売価格（全国平均）との差額を交付する制度。



▲麦の収穫に汗を流す生産者

土地購入に関する 今後の方針は

中津伸一議員 今回の補正予算で土地購入費を計上していますが、町には他にも借りている土地がたくさんあり、その賃借料が多くなっています。

土地を購入するには多額の費用がかかるものの、将来的には経費の削減につながるかと

えませんが、今後の土地購入に関する方針について伺います。

黒田総務課長 将来を見据え、今後も恒久的に活用する公有地については、財政的な問題を考慮した上で慎重に検討していきます。



▲土地の購入予定地（下北迫・大谷地原）

契約先の人事異動に 左右されるな

黒田政徳議員 社会福祉協議会への委託事業については、受注者の人事異動により、その内容や金額を変更していますが、この現状をどう思いますか。

根本福祉環境グループリーダ― 契約締結後は、受注者側に人事異動等があってもその内容や契約金額に変更がないのが一般的と思いますが、町としては長年、社会福祉協議会に委託しており、人事異動があった際には委託契約額を変更しているのが現状です。



▲老人クラブと保育所の交流会

来年度に繰り越せないのか

渡辺久長議員 高萩・田中線整備事業については、当初予算で2000円しか計上しておらず、9月に追加補正をし、今回また3000万円を追加するということですが、金額的にも多額で、その工事内容からも来年度の当初予算で要求し、執行すべきではないですか。

入札差金等により高萩・田中線整備事業を実施する予定でしたが、まだ額が確定されていないために、予算の組み替えをお願いするものです。

賀沢建設課長 現在工事中である鍛冶屋前踏切改良工事で発生した

また、下浅見川線整備事業と高萩・田中線整備事業は、今年度の1つのパッケージ事業として国から認可されており、来年度の実施となる制度的にも事務的にも難しいと考えています。

農業委員会の体制を見直せ

門馬 巧議員 本町における情勢や、今後の財政状況を考えれば、農業委員会の体制について見直すべきではないですか。

山田町長 今後は関係機関と協議しながら検討していきたいと考えています。



▲舗装工事が予定されている町道高萩・田中線

採択

議員発議で
意見書を国に提出

提出者 塩 史子
賛成者 鈴木正範 渡邊正俊

TPP参加反対を
求める意見書

【要旨】

広野町は、弥生時代から米作を中心とした農業により生活を営んできました。

近年の我が国の食生活は、米離れが進み、昭和59年から3年間をピークに米の価格が下落し、今日では生産コストを下回る状況です。

国では、今年度より農業者戸別所得保障制度を導入しましたが、耕作面積10000㎡当たり、1万50000円の補てん額では焼け石に水のようなものです。

福島県内の42市町村は、「農業が壊滅的な打撃を受ける」との理由から反対を表明しています。

今後、(※)TPPへの参加による農産物の関税の引き下げ、撤廃となれば、農業経営は困難を極め、町民の生命・財産に甚大な被害がおよびることは言うまでもありません。

よって、TPPへの参加は、国が進めている国民の生命を守るために、安全で安定した食料の確保のための自給率向上に相反する政策であることから、断固反対するものです。

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、外務大臣、農林水産大臣、経済産業大臣、国土交通大臣

【提出先】

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、外務大臣、農林水産大臣、経済産業大臣、国土交通大臣



▲刈り取りが進む22年産米（上浅見川・大谷内）

※TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）貿易自由化を目指す経済的枠組みで、工業製品や農産品、金融サービスなどをはじめとする、加盟国間で取引される全品目について、関税を原則的に100%撤廃しようというもので、2015年をめどに関税全廃を実現するべく協議が行われています。

請願書2件を不採択

【請願者】

福島県保険医協会
理事長 酒井 学

【紹介議員】

畑中 大子

12月定例会に提出された「患者の窓口負担大幅軽減を求める請願書」については、

書「肺炎球菌ワクチンへの公費助成に関する請願書」については、請願の趣旨から産業厚生常任委員会に付託され、慎重審議の結果、町内の現状調査がされていないなどの理由から、不採択となりました。

第2回臨時会

11月8日に第2回臨時議会を招集しました。ここでは、広野町特産品開発の拠点となる農産物加工施設建設工事の請負契約について審議し、原案のとおり可決したほか、一般会計の科目組み替えによる補正予算を可決しました。

～農産物加工施設建設工事～

- 工事の名称 農産物加工施設建設工事
- 工事の場所 広野町大字下北迫字大谷地原地内
- 工期 着工：平成22年11月9日
完成：平成23年3月11日
- 工事代金 6,037万円
- 請負者 西本建設株式会社
- 工事概要 建屋構造：鉄骨造平屋建て
延床面積：275㎡

第3回臨時会

11月30日に第3回臨時議会を招集しました。ここでは、平成22年(※)福島県人事委員会勧告にならない、町議会議員の報酬および町長等・教育委員会教育長・職員の給与等に関する条例の一部改正を可決したほか、農産物加工施設加工機器（厨房・精米機器）の取得についても可決しました。

～厨房機器～

- 業務の名称 農産物加工施設加工機器購入（厨房機器）
- 納入の場所 広野町大字下北迫字大谷地原地内
- 納入期限 完成：平成23年3月11日
- 契約金額 1,113万円
- 契約者 タニコー株式会社東福島出張所
- 購入機器 プレハブ冷蔵庫1台・水切付二槽・シンク1台・味噌仕込台1台ほか

～精米機器～

- 業務の名称 農産物加工施設加工機器購入（精米機器）
- 納入の場所 広野町大字下北迫字大谷地原地内
- 納入期限 完成：平成23年3月11日
- 契約金額 1,113万円
- 契約者 株式会社福島クボタ富岡営業所
- 購入機器 精米プラント1台・精麦機1台・製粉機1台・生麺打ち機1台ほか

討論の末 9対1で可決

職員の給与に関する条例の一部を
改正する条例

反対 畑中 大子 議員

不況が続く民間では大変苦しんでいる中、今後も人事委員会勧告に従い公務員の給与基準を引き上げていけば、さらに民間に対する悪影響を与えるものであり、この条例改正に反対します。

賛成 中津 伸一 議員

公務員の給与が年々下がることによって、町の商店街にも打撃を与えるのは確かですが、不況が続く先行きが不透明な今日、公務員も町民もその痛みを分かち合い、この不況を乗り越えることが大事であり、この条例改正に賛成します。

議会議員・町長等および教育長
町職員の期末手当を減額

(※)福島県人事委員会勧告にならない、議会議員をはじめ、町長等および教育長、町職員に対する12月期末手当の支給額を0.15月分引き下げました。

※福島県人事委員会勧告

国および他の地方公共団体の職員の給与ならびに県内民間事業所の従業員の給与水準などについて毎年調査を行い、これらを均衡させる（民間準拠方式）ことを基本とします。

無事故・無災害で工期内の完成を

総務文教 大吹地区宅地開発事業

本事業は、工事請負に係る指名競争入札が執行され、請負金額1890万円で町内業者が落札し、来年3月10日の完成を目指す事業を進めているとの説明を受けました。

委員からは、当初説明を受けた工事予算額より、かなり低い金額で請負契約が締結されていることへの疑義の声をありましたが、一部

の設計変更等により工事費が圧縮されたとの説明でありました。ただし、周辺住民の要望により本事業の一部としてフェンスを設置する場合には、請負額の増額もあり得ることでした。

本委員会としては、①進入路の国道取り付け部分に関して、関係機関と十分に協議を行い、安全確保に万全を期すこと。

②宅地分譲の価格設定については、慎重に行うこと。

③無事故無災害で、工期内に工事を完了すること。

委員会報告

常任委員会の活動 状況を報告します。

総務文教常任委員会 平成22年11月15日 開催
産業厚生常任委員会 平成22年11月12日 開催



◀おどろきの「低温の世界」(福島高専出前講座)

産業厚生 疾病予防に大きく前進

当町は、高額医療の町に指定されているため、疾病予防や早期発見に努めることが重要な課題となっています。

そのために、来年度から子宮頸がん予防ワクチン・ヒブ(インフルエンザ菌b型)ワクチンの接種費用および脳ドック検診費用の助成を実施したいとの説明を受けました。

それぞれの実施要綱

は示されたものの、詳細については国の動向により変更がでくるとのことでした。

これらの助成については一般質問でも取り上げられており、町民の生命に関わる問題でもあり、現在取り組んでいる他の自治体も少ない中での当町の取り組みを大いに評価するものです。



▲町をきれいに (クリーンアップ作戦のようす)

産業厚生 モラルとマナーの向上に期待

広野町ポイ捨て等の防止に関する条例の制定

たばこの吸殻や空き缶等のポイ捨て、また飼いのふんの放置など、環境美化の推進や喫煙マナーの向上に対する条例を12月定例議会に提出し、平成23年4月から施行したいとの説明を受けました。

本委員会としては、従来より空き缶のポイ捨てや飼いのふんの放置に対して、町民からの苦情が多くあったことを踏まえ、町民等に広く知らしめ、モラルとマナーの向上を啓蒙するための条例になると期待され、高く評価するものです。

ただし、誰にでも分かりやすい条例名にすること、(案)の過剰の開きを縮めることが良策ではないかと提言しました。

産業厚生 組合員と十分な協議を

農産物加工施設整備事業

農産物加工施設建設工事の請負契約については、去る11月8日に開催された第2回臨時会において議決され、今後設置する製造機器や備品については、11月末頃までに発注できるように準備をしているとの説明を受けました。

本委員会としては、当町の主産物である米が原材料として十分に確保されるにも関わらず、米粉製造機が今回整備する機器に含まれていないことに疑問を呈し、米粉による米の消費を増やし、今後の農業の振興をはかることを要望するともに、米保管庫の収容能力は十分であるか、また企業組合における衛生管理を含む運営面や機種選定について、組合員と十分に協議しながら進めるよう提言しました。



▲いっぱいといれたよ (幼稚園いもほり)

追跡レポート

あの質問 どうなった？

議員の質問・提言に答える町執行部、その答弁がその後どうなったのか？ どう町政に反映させているのか、対応を追跡しました。

●平成20年12月定例会 ● 質疑
渡邊 正俊 議員

電気牧柵の設置費用を助成できないか
イノシシ対策に有効な電気牧柵などの設置に対して、町独自の助成措置をとっていただけませんか。



山田町長／検討していく

国や県による助成を視野に入れつつ、町独自の方法を検討していきます。



～電気牧柵設置者に対する補助金の交付を開始～

広野町電気牧柵設置補助金交付要綱

〈概要〉
平成22年4月1日から、町内に所有権または耕作権を有する田、畑および山林に設置する電気牧柵器本体や資材の経費が対象となっています。
補助金の額は、事業に要した経費の2分の1以内で、2万円を限度とし、(100円未満の端数は切り捨て) 交付申請は、補助対象者1人につき1回限りとなっています。



▲水田周辺に設置された電気牧柵

7人の議員が町政を問う

一般質問席

一般質問は、公の場である議会で、議員が議題に関係なく、町長の考え方や町政の執行状況について事実の説明を求めたり、所信を問いただすものです。

一般質問席 (広野町議会議場)

今後の「町民号」実施計画はいかに

山田町長／多くの意見を参考に検討する

渡辺 今年は、30回目となる町民号を町制施行70周年記念を兼ねて実施されました。

年々町の財政が厳しくなっていく中、町民号実施の是非を議論するのは当然ですが、この事業を心待ちにしている町民も多く、今後も行政サービスの維持向上に努め、住みよい町づくりを推進するた

めには、次回の実施についても前向きに検討すべきではないですか。

町長 昭和47年2月に、町民の親睦と融和を目的とし、第1回

広野町民号が実施されてから今年で30回目となり、延べ参加人数は1万人を超えています。しかし、近年の参加者は減少傾向にあるなど、見直しの時期を迎えていると考えており、今後はアンケート調査を実施するなど、多くの町民の意見を伺いながら検討していきます。

行政財産の効果的な運営に取り組み

山田町長／健全な住宅運営を旨指す

渡辺 少子高齢化が急速に進み、地域経済や雇用情勢の悪化など、地方自治体を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあり、

当町の根幹をなす税収

が年々落ち込み、人口の増加も見込めず、財源不足のさらなる拡大が懸念されています。こうした中、行政財産である町営住宅について、入居率を高める

とともに、家賃滞納額の削減をはかることは、

自主財源を確保し、効果的・効果的な町政運営を進めていく上で、極めて重要であると考えますが、桜田住宅(旧雇用促進住宅)の入居状況について伺います。また、住宅使用料の滞納状況と、それらへの対応について伺います。

町長 桜田住宅の入居状況は、12月1日現在60戸のうち58戸

が入居しており、空き室は2戸となっています。なお、桜田住宅は若い世代の住人が多く、他の町営住宅に比べると入退居が頻繁であり、空き室も常に変動している状況ですが、今後も高い入居率を維持していきたいと考えています。次に、滞納状況については、10月1日現在、35世帯1569万6100円となっています。その対応については、督促状を送り、特に悪質と思われる滞納者に対しては個別に連絡を取るなど、住宅退去を含め、今後の対応策について協議を進めていきます。また、町の徴収員の協力を得て、滞納金の回収にも努め、今後とも家賃滞納額の削減に向けて努力していきます。



渡辺 久長 議員



▲楽しい時間に笑顔が満開 (第30回広野町民号)

来年度予算の編成方針はいかに

山田町長／最少の経費で最大の効果を発揮する

北郷 平成23年度の予算編成の基本方針と具体的な重点事業を伺います。

町長 予算は、「最少の経費で最大の効果」が発揮できる予算編成を目指します。また、具体的な重点事業については、「町民と共に歩む、安全・安心で豊かな活力ある町づくり」を目指し、継続事業である「日の出橋整備事業」や町道小

松・南山線橋梁整備事業の推進、子宮頸がん予防ワクチン等の予防接種助成事業等を考えています。

次に、一般会計歳入見込みの今年度との対比は、主要財源である固定資産税収入が減少する中、普通交付税の伸びも多くは望めない状況であり、前年度を下回る歳入見込みです。なお、滞納整理を含めた増収対策については、納税者の税負担の公平性と財源の確保をはかるため、滞納額の縮減に全力で取り組みます。

また、具体的な重点事業については、「町民と共に歩む、安全・安心で豊かな活力ある町づくり」を目指し、継続事業である「日の出橋整備事業」や町道小



▲カレー作りに挑む男子児童（児童館お楽しみ会）

北郷 幹夫 議員

児童館の入館対象年齢を延長せよ

山田町長／対象年齢の延長は困難

北郷 児童館は、両親が共働きなどで昼間不在になる家庭の小学1年生から、5年生の児童を預かり、健全な育成を推進しています。

平成23年度児童館入館の募集（約100人）がありましたが、現在、児童館に入館している児童数と指導職員（児童厚生員）数について伺います。

国では、原則として小学校卒業までを入館対象とする方針を示し、郡内では樺葉町、双葉町で小学6年生までを対象としています。当町も、対象学年を6年生まで延長し、子育て環境の支援をはかるべきではないですか。

町長 12月1日現在の登録児童は101人で、児童厚生員は職員2人、臨時職員4人の計6人に対応しています。

次に、利用学年の延長については、現在在の定員数は100人で、11月の1日平均利用者は98人であり、施設の規模および児童の安全確保等の観点から、6年生までの受け入れは難しい現状にあります。

企業誘致と工業団地造成の展望はいかに

山田町長／情報収集に努め慎重に対応していく

鈴木 現在操業中の誘致企業の現状と実績について、また、国で加盟の是非をめくり論争されている（※）TPPに関し、大きな影響を受ける可能性がある企業について、どのように把握していますか。

また、新規企業の誘致活動の現状と、本年3月の完成を目指していた工業団地の拡張工事に関して、今後の計画はどのようなものですか。

町長 リーマンショック以後、経済・雇用情勢は依然として厳しく、今後もさらに、関係機関と緊密な連携をはかりながら、効果的な対策に取り組む必要があると考えています。

TPPに関しての影響については、企業のほとんどが部品や原材料などの製造業であり、製品としての輸出はなく、大きな影響を受けることはないと考えていますが、さらに調査して参ります。

また、工業団地拡張工事については、今後の経済状況と町の財政力を踏まえ、福島県東京事務所と連携をはかり、慎重に対応していきます。

地域の伝統・文化を守れ

山田町長／今後も大切に受け継いでいく

鈴木 最近、県における民俗芸能の36%が継承されずに消滅したと報じられ、我が町でも似た例が多く、子どもと高齢者など世代間の貴重な交流の機会が失われると危惧されています。

今後は、どのようにして失われたものや失われようとしているものを、復活あるいは継承していくのですか。

町長 町内の民俗芸能伝承状況を調査した結果、上北迫大平地区（太田農神社）の盆踊りと南沢地区の獅子舞の2件が継承されていませんでした。

今後も地域の伝統・文化が後世に引き継がれていくよう、できるかぎり応援して参ります。



鈴木 正範 議員

※TPP
6ページを参照



▲平成21年 大滝神社の「浜下り神事」

電源供給地としての今後の街づくりは

山田町長／優位性を活かした雇用の創出と地域の振興をはかる

鈴木 広野火力6号機の建設工事は、完成に向け順調に進んでいると聞いていますが、今後営業運転が開始されてから、電源供給地としてどのような町づくりを進めていくのか、その指針をお示しください。

町長 発電所建設関連雇用に代わる就業の場の確保に向けて、電源立地地域の優位性を活かし、今後の成長産業である環境・新エネルギー産業等も誘致対象に加えた新たな誘致活動を推進するとともに、既存企業と連携し、雇用の創出および地域振興をはかっていきたいと考えています。

重度心身障がい者 医療費の窓口無料化を 拡大せよ

山田町長／医療機関への
働きかけに努める

畑中 広野町の医療機関は、窓口無料化となつていますが、

重度の障がいを持つ方は、特定疾患が多く、町内医療機関での対応がむずかしい治療も多いため、町外の医療機関においても、窓口無料化の実施ができるよう拡大すべきではないですか。

町長 無料化制度に協力いただきたいという医療機関は、町内病院と医局で、町外では、いわき市の1病院で利用が可能となつています。

制度の実施に際しては、郡内統一としての導入を検討しましたが、他町村では医療機関における事務の煩雑等の理由から足並みがそろわず、広野町単独での実施となったところです。

この制度は医療機関の協力あつての制度ですので、今後も町外の医療機関の協力が得られるよう働きかけたいと考えています。



畑中 大子 議員

介護手当を増額せよ

山田町長／現状を維持していく

畑中 かつて4万円だった寝たきり療養者介護手当を2万円に減額した理由と、

現在の受給者は何人いますか。

また、寝たきり療養者を介護しながら働くことは困難で、経済的負担も大きいので、以前の4万円に戻すべきではないですか。

町長 介護保険制度の導入にともない、

介護施設の充実や在宅サービス等が受けられるようになり、他町村では廃止の動きもあつた中、当町では「介護人の負担軽減をはかるためにも存続すべき」という観点から、手当額を一律2万円に変更して存続をはかつてきたところですので、今後も現状を維持していきたいと考えています。

なお、手当の受給対象者は、11月末現在16人です。

TPP参加で町の農業に与える影響は

山田町長／米などに影響がおよぶ

畑中 TPP参加で、国内農業が壊滅的打撃を受けると言われていますが、町の農業には、どのような影響があるか調査していますか。

町長 当町の基幹作物になつている重要品目の米などにも影響があるものと考えています。

また、町内の食料自給率や農業従事者の減少が心配されることから、自治体として意見を出すべきではないですか。

今後は国の参加の是非をめぐり、町としても影響がおよばない方策を全力をあげて取り組んでいく考えです。



▲小学5年生による稲刈り体験

少子高齢化社会への 対応はいかに

山田町長／安全で安心して暮らせる
町づくりに取り組み

塩 第3次町勢振興計画の人口推計によると、22年の広野町の人口は約6200人となつていますが、

実態は約5500人と700人の差が生じており、人口の内訳は65歳以上の高齢者が占める割合が非常に高くなつています。

今後、少子高齢化社会にどのような対策を講じていくのですか。

町長 少子高齢化社会への取り組みは、子育て支援、母子の健康、未婚者支援、教育、雇用、生活環境など総合的な分野での対策を推進することが重要です。

今後は、関係機関とも連携しながら、安全で安心して暮らせるまちづくりに取り組んでいきます。



▲昼休みを楽しむ児童たち

学校施設の芝生化を 推進せよ

山田町長／芝生化は考えていない

塩 当町の学校施設は、一般住宅地や商店など比べ高い場所に位置するため、

冬の北風で砂が飛ばされ、多くの住民が迷惑をしています。

今後それらを芝生化することで、子どもが転んでも怪我をしないなど、さまざまなメリットもあり、砂ほこりの解消にもつながるのではないですか。

児童徒の転倒が多く、学校からの要望もあつたことから、小学校の遊具付近を除き、芝を撤去した経緯があります。

また、芝生化工事に、屋外活動や部活動に支障がでることや、芝の養生期間中の活動制限が生じることなども含め、現時点での芝生化の計画はしていませんが、今後は、既設の散水栓を使用し、飛散防止に努めて参ります。

町長 当町の小中学校のグラウンドはクレー舗装となつており、強風時に砂が一部飛散していることは承知しています。

ご存知のとおり、当初は小中学校ともに芝舗装となつていましたが、芝の段差により児



塩 史子 議員

第4次町勢振興計画の重要施策は

山田町長／7つの分野を柱に策定する

遠藤 今年度中に『第4次町勢振興計画』が策定されますが、現在の『第3次町勢振興計画』に対し、新時代へ向けた新たな重要施策とはどのようなものですか。

また、根拠となる財政指数について、財政健全化法にもとづく各指数の数値目標とはどのようなものですか。

町長 第4次町勢振興計画の重点施策は、都市基盤、生活環境、健康福祉、教育文化、産業、コミュニティ・交流、行財政の7つの分野を柱として策定作業を行っています。

次に、財政健全化法にもとづく指数の数値目標については、中期財政運営指標にもとづく税収や借り入れ、さらには、普通交付税の収入見込み等を勘案し、財政状況を見据えた実施計画を策定していきたいと考えています。

役場内組織編制の展望はいかに

山田町長／さまざまな角度から検討する

遠藤 役場内の組織編成は、各課制度からグループ制度に改正され、目的である組織機能の強化に対し、その効果はどのように評価していますか。

また、人口の減少にともない、庁舎内組織機構の縮小と機能を明確にし、業務効率の向上をはかり、町民へわかりやすい業務体制にするべきではないですか。

町長 職員数が減少する中、グループで対応することにより職員の意識改革や事務処理の迅速化など、町民サービスの面においても一定の成果を上げていると考えています。

しかし、人口の減少が行政事務の減少に必ずしもつながらない面もあり、さまざまな角度から検討しなければならないと考えています。



遠藤 智 議員

検討委員会を設置して方向性を見い出せ

芦川教育長／検討委員会の設置を含め検討する

遠藤 子育て支援の総合的な提供を行う認定こども園への展望をはかるべく、教育委員会、職員（幼稚園教諭・保育士等）・住民（保護者・有識者等）により協議する検討委員会を設置し、計画案を策定し方向性を見出すべきではないですか。

教育長 認定こども園については、待機児童がいないことなどを踏まえ、現在のところ認定こども園への移行は考えていませんが、現在も政府では「こども園（仮称）」についての議論がされており、国の動きを注視しながら、幼保一元化を協議する検討委員会の設置も含め、関係機関と協議をしながら検討していきます。

リスク管理体制を確立せよ

山田町長／管理体制の強化に向け努力する

遠藤 町は、重要情報資産を不正アクセスや改ざんなどの脅威から保護する責務を果たすため、新たな情報管理の条例を制定し、リスク管理体制を確立すべきではないですか。

町長 町では、不正アクセス等を防ぐため、3月までに新しいシステムを構築したいと考えています。

新システムには、不正アクセスや情報漏えいなどを一元的に管理できる監視サーバーを導入し、リスク管理体制の強化に向けて引き続き努力して参ります。

課長等会議で十分に議論すべき

山田町長／議論した上で重点事業の選別をしていく

中津 平成23年度の重点事業を決定する前に、庁内課長等会議で十分に議論し、新年度の予算編成に生かすべきではないですか。

町長 厳しい予算編成となることから、従来にも増して課長等会議でしっかりと議論をし、重点事業の選別をしていきたいと考えています。



▲何でもバランスが重要です（広野幼稚園生活発表会）

ソフト事業の展開はいかに

山田町長／予防接種や検診事業への助成に取り組む

中津 平成23年度はどのようなソフト事業を展開していくのですか。

町長 来年度のソフト事業は、町民の健康づくりを推進し、安全・安心で住みよい

町づくりを進めるため、子宮頸がん予防ワクチン・ヒブワクチン・小児用肺炎球菌ワクチンの予防接種への助成と、脳ドック検診助成事業等に取り組んでいきたいと考えています。

低金利への借り替え実現に向けての決意は

山田町長／起債の削減に向けて努力する

中津 町は、低金利への借り換えについて努力をしています。が、国や県との関わりもあり、難しい部分もあると思いますが、町長の政策の1つでもある借り換えの実現に向けて、町長の決意を伺います。

町長 財政力指数要件などの縛りがあり、高金利の起債すべてを対象とすることは現行制度では難しい状況ですが、国・県に制度改正を強く要請するとともに、現行制度の中で可能なものについては、現在繰り上げ償還を申請しています。

広野小学校6年生が 12月定例会を傍聴

広野小学校の6年生が、社会科授業の一環として12月定例会の第2日目を傍聴しました。
時間の都合で、1時間と短い時間でしたが、メモをとる姿なども見られ、真剣に耳を傾けていました。



6年2組 島村 真登くん

議会中はみんな真剣で、すごくはりつめた空気が少しこわかったです。

議題は、ポイ捨てや犬のふんの問題についてで、議員さんからいろいろな質問がありました。最後は可決されました。議長さんや議員さん、各グループリーダーが、何だかほこらしく思いました。



6年2組 新妻 和樹くん

テレビで見る国会の人達のように、話し合っていることが分かりました。

内容は、「ゴミや犬のふん」の問題と「予算案」についてでした。ほくも帰り道によくゴミを見かけるので、対策を考えなければいけないと思いました。



6年2組 久保木瑞穂さん

町長が提案したことについて、グループリーダーが説明し、議員さんがいろいろな意見を述べていたので、1つの問題を解決するまで、たくさんの人たちの努力があることが分かりました。

内容は、少しむずかしかったけど、なるほどと思う意見もあり、学級会みたいだなと思いました。



6年1組 飯島 百香さん

議会を見学してまず分かったことは、議員さんが12人いたことです。

議会中は、まじめに話し合い「異議なし」などと言うところが、かっこよかったです。私も広野町を良くしていくために何か協力できたらいいなと思います。これからもがんばってください。



6年1組 猪狩 玲美さん

町でポイ捨てされたゴミなどを見かけますが、以前よりきれいになってきていると説明を聞いて、少し安心しました。

新しい決まりができれば、早く町の人に知ってもらい、ポイ捨てや犬のふんの防止に気をつけてほしいと思います。



6年1組 中野 花香さん

議会では、いろいろなむずかしいことを決めているのがすごいと思いました。

私の家でも犬を飼っているので、ふんのあとしまつやゴミのポイ捨てなどに気をつけたいと思います。議会を見学させていただき、ありがとうございました。



広報委員会

平成19年度北海道町村議会広報コンクール「特選」受賞

「びほろ町ぎかい」に学ぶ

～北海道美幌町議会・広報編集委員会視察研修～



北海道には、各常任委員会の研修でしばしば訪れていますが、観光地として交流人口の拡大と大きな面積を利用した農業等で経済の活性化をはかり、税収確保に力を入れており、美幌町も、美幌峠や摩周湖など、観光資源に優れている地域です。

北海道には、各常任委員会の研修でしばしば訪れていますが、観光地として交流人口の拡大と大きな面積を利用した農業等で経済の活性化をはかり、税収確保に力を入れており、美幌町も、美幌峠や摩周湖など、観光資源に優れている地域です。

町民がどんなことに関心を持ち、何を求めている

北海道には、各常任委員会の研修でしばしば訪れていますが、観光地として交流人口の拡大と大きな面積を利用した農業等で経済の活性化をはかり、税収確保に力を入れており、美幌町も、美幌峠や摩周湖など、観光資源に優れている地域です。



▲会議であいさつする中津伸一委員長

産業厚生

全国に誇る「野菜王国」

長野県南佐久郡「川上村」に学ぶ

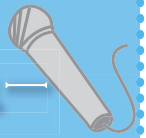
～長野県南佐久郡川上村・視察研修～

「レタス栽培日本一の村」川上村は、標高1100m～1500mにあり、全国的にも名高い高原野菜の一大産地で、主にレタスや白菜を作っています。

農業後継者の平均年齢は29歳で、定着率が高い理由については、高収入が望めること、すぐにも農業に取り組める環境・資本があることをあげていました。



▲雨の中でレタス畑を視察する委員



ま ちかど インタビュー

きれいで快適な町づくり 〜広野町ポイ捨ておよび 犬のふんの放置防止に関する条例〜

「広野町ポイ捨ておよび犬のふんの放置防止条例」を12月定例会において制定し、平成23年4月1日から施行されます。

本条例の趣旨の普及と、マナーのさらなる向上をはかるために町民のみなさんの意見を伺いました。



小柳 薫さん
(中央台・2丁目)

ウインドにしたいものです。この条例が施行されるのを機会に、私たちも意識を持ち、きれいな町づくりを考えたいと思います。

私は子犬を飼っていますので、グラウンドをいつも散歩に利用していますが、植え込みの中に、空き缶や菓子袋があつたりします。また、犬のふんもありません。町外の方も多く訪れる施設ですので、きれいなグラ



白土 豊子さん
(上浅見川・小松)

空き缶やたばこ等については、「ポイ捨て」はいけなさと分かっていますが、犬のふんについては「ポイ捨て」ではないから構わないと、よその土地や道路にそのまま放置していた飼い主もいると思います。この条例によってそれがなくなれば、広野町はもっときれいで快適な町になるでしょう。



編集後記

穏やかな新しい年の幕開けであった。暑い暑いで過ぎた昨年の夏、異常とも思える暑さが、さまざまな植生物に悪影響を与え、集中豪雨が各地で発生し甚大な被害をもたらした。

そして今、各地から豪雪の便りが届く、被災された方へ思いを寄せながら、この温暖な広野町のありがたさをあらためて実感している。

今年一年、災害のない平穏な年でありますように、そして昨年より少し飛躍できたらそれで「良」としよう。(渡邊正俊)



▲平成23年広野町成人式

発行・編集責任者
議長 坂本 紀一
広報委員会

- 委員長 中津 伸一
- 副委員長 渡邊 正俊
- 委員 鈴木 紀昭
- 委員 塩 史子
- 委員 渡辺 久長
- 委員 鈴木 正範
- 委員 遠藤 智

次の定例会は3月です